



まちの駅連絡協議会の概要

-平成 15 年度 年次報告-

1. 設立の趣旨

まちの駅は、市町村の行政域を越えた連携を目指して、地域住民や来訪者が求める地域情報を提供する機能を備え、人と人の出会いと交流を促進する拠点です。また、まちづくりの拠点となり、他のまちとも連携する拠点としての役割も担うものです。

このまちの駅の考え方が、各地の市町村だけでなく、民間企業や住民活動団体、NPO 団体などからも、自分たちのまちを活性化するキーワードとして注目されてきました。

この「まちの駅連絡協議会」は、まちの駅に取り組んでいる市町村・団体などが、まちの駅の設置を通して、地域やセクターを越えた交流連携活動を行い、ゆたかなまちづくり、くにづくりのためのネットワークをつくることを目的としています。

2. 参加状況

数年前から、さまざまな地域において、周辺市町村が（多くは県境を越えて）共同で社会実験を行ってきています。常設されているまちの駅（62ヶ所 2004.5.19 現在）と社会実験参加市町村（2003 年度参加...178 ヶ所）を合わせると、既に約 320 の市町村・団体がまちの駅に取り組んでいることとなります。なお、情報発信のみで参加（2001 年インターネット博覧会「まちパビ」）したまちの駅も 100 近くにのぼり、この中から次々と実際のまちの駅としてオープンしています。また、今後まちの駅の設置を検討する予定のある市町村・団体も増えてきました。



これらの取り組みの中でも、とくに、常設のまちの駅の設置・運営者を対象としたネットワークづくりを進めています。

3. 活動内容（まちの駅連絡協議会会則 第 4 条より）

1. の趣旨に従い、まちの駅連絡協議会では、以下の事業を行うことを予定しています。
- ・ まちの駅の情報の標準化による情報の共同発信に係わる諸活動
 - ・ まちの駅どうしの交流連携に係わる諸事業（印刷物の共同作成、各種イベント・シンポジウム、特産品の紹介・斡旋、人材研修等）、企画、運営、調整等
 - ・ 各種実務者、専門家等の人材紹介、斡旋
 - ・ まちの駅の発展に向けての調査研究活動
 - ・ その他、まちの駅ネットワーク推進に係わる諸活動

4. 運営資金

運営資金は、主に①参加市町村・団体等の年会費、②フォーラム開催費、③印刷物販売、④コンサル収入、⑤その他（補填分等）でまかさないです。

- ・ 年会費（正会員）
 - 団体会員...年間一口 3 万円（原則的に二口以上納入）
 - 個人会員...年間一口 1 万円
- ・ その他の運営費用の詳細については、別紙「まちの駅連絡協議会運営費予算案」をご参照ください。

5.これまでの経緯

- 01...平成 10 年 3 月 21～29 日：長野～山梨～静岡県の 10 市町村にて予備実験
地域連携推進に向けた、市町村ネットワーク形成のための拠点づくりの実験開始
- 02...平成 10 年 10 月 24 日～11 月 23 日：秋田～岩手県の 9 市町村にて社会実験
- 03...平成 10 年 11 月 2 日～12 月 31 日：長野～山梨～静岡県の 18 市町村にて社会実験
- 04...平成 11 年 1 月 29 日 「連携センター(現：まちの駅)」名称確定フォーラム
- 05...平成 11 年 2 月 22 日～3 月 8 日：福岡県の筑後・八女地域 8 市町村にて社会実験
- 06...平成 11 年 5 月 15 日 「まちの駅」：シンボルマーク最終選考会(第 4 回首長交流会にて)
- 07...平成 11 年 7 月 25 日～10 月 11 日：秋田～岩手県の 9 市町村にて社会実験
- 08...平成 11 年 9 月 4 日～11 月 30 日：長野～山梨県の 14 市町村にて社会実験
- 09...平成 12 年 4 月 24 日：「まちの駅連絡協議会」正式発足のための準備会
日比谷 星陵会館にて、まちの駅に取り組む団体を中心に開催 (約 100 名参加)
- 10...平成 12 年 7 月 19 日：まちの駅研究会
KOTOBUKI D.I.センターにて、全国首長連携交流会の担当者を中心に開催 (約 30 名参加)
- 11...平成 12 年 8 月 20～27 日：新潟～群馬県の 7 市町村にて社会実験
まちの駅標準情報の提供の検討
- 12...平成 12 年 8 月 31 日：「まちの駅連絡協議会」正式発足会 & フォーラム
日本経済新聞社にて、まちの駅によるセクターを越えた連絡組織が発足 (約 120 名参加)
- 13...平成 12 年 9 月 8 日～平成 13 年 3 月 15 日：長野～山梨県の 13 市町村にて社会実験
- 14...平成 12 年 10 月 7～29 日：茨城～栃木県の 10 市町村にて社会実験
- 15...平成 12 年 10 月 14～20 日：北海道紋別地域の 9 市町村にて社会実験
- 16...平成 12 年 10 月 31 日：「まちの駅」ホームページ開設
- 17...平成 12 年 12 月 31 日：インターネット博覧会「まちの駅」パビリオン開設 (1 年間)
- 18...平成 13 年 2 月 20 日～28 日：石川～富山～岐阜県の 15 市町村にて社会実験
標準情報の提供方法、フォーマット等の検討
- 19...平成 13 年 8 月 1 日～10 月 31 日：新潟～群馬県の 11 ケ所にて社会実験
子どもの体験学習を通じた「まちの駅」ツアーの検討
- 20...平成 13 年 8 月 31 日：「まちの駅」全国フォーラム
日本経済新聞社にて、まちの駅設営者 (予定含む) を中心に開催 (約 130 名参加)
- 21...平成 13 年 9 月 1 日～10 月 31 日：石川～富山～岐阜県の 24 ケ所にて社会実験
統一規格パンフレット・地図の共同作成・設置
- 22...平成 13 年 10 月 16 日～22 日：北海道紋別地域の 7 ケ所にて社会実験
- 23...平成 13 年 11 月 17 日～12 月 9 日：茨城～栃木～群馬県の 21 ケ所で社会実験
民間版テーマタイプのまちの駅ネットワークの強化
- 24...平成 13 年 11 月 1 日～平成 14 年 2 月 28 日：福岡県の甘木朝倉地域 21 ケ所にて社会実験
- 25...平成 14 年 1 月 1 日：まちの駅公式サイト「まちの駅どっと混む」開設
- 26...平成 14 年 3 月 23 日：「まちの駅」全国フォーラム in 櫛形 (山梨県)
櫛形町中央公民館にて、まちの駅設営者・まちづくり関係者を中心に開催 (約 130 名参加)
- 27...平成 14 年 7 月 3 日：「まちの駅連絡協議会」総会・勉強会
KOTOBUKI D.I.センターにて、まちの駅設営者を中心に開催 (約 90 名参加)
- 28...平成 14 年 8 月 31 日：まちの駅メールマガジン 創刊 (月一回発行)
- 29...平成 14 年 9 月 13 日～：甘木・朝倉地域の 45 ケ所にて連携推進(リニューアルオープン)
- 30...平成 14 年 10 月 1 日～11 月 30 日：北陸地域の 11 ケ所にて社会実験(連携強化期間)

- 31...平成 14 年 10 月下旬～12 月下旬：関越地域の 11 ケ所にて連携推進
 32...平成 14 年 11 月 1 日～22 日：福岡地域の 7 市町村にて社会実験
 33...平成 14 年 1 月 15 日～2 月 28 日：北関東地域の 41 ケ所にて連携推進
 34...平成 14 年 2 月 8 日～21 日：飛騨・高山地域の 6 ケ所にて社会実験
 35...平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日：関越地域の 13 ケ所にて連携推進
 36... " 富山県内の 9 ケ所にて連携推進
 37... " 北関東地域の 45 ケ所にて連携推進
 38...平成 15 年 7 月 17 日～：甘木・朝倉地域(福岡県)の 50 ケ所にて連携推進
 39...平成 15 年 8 月 2 日～31 日：隠岐・対馬・種子島の 3 島 7 ケ所で社会実験
 40...平成 15 年 8 月 22 日：第 4 回「まちの駅連絡協議会」総会&フォーラム 2003
 まちの駅ぽっぽ町田(東京都町田市)にて、まちの駅設置者を中心に開催(約 150 名参加)
 41...平成 15 年夏～秋：那珂川流域(茨城・栃木)の 8 ケ所にて連携推進
 42...平成 15 年秋～平成 16 年 3 月 31 日：有明沿岸地域(福岡・熊本)の 18 ケ所にて連携推進
 43...平成 15 年 10 月 25 日～11 月 30 日：鹿児島県内の 8 ケ所にて社会実験
 44...平成 16 年 2 月 13 日：第 5 回「まちの駅連絡協議会」フォーラム in 長岡
 ながおか市民センター(新潟県長岡市)にて、まちの駅設置者を中心に開催(約 200 名参加)
 45...平成 16 年 2 月 25 日～3 月 9 日：福岡県内の 21 ケ所にて社会実験
 46...平成 16 年 3 月 13 日～4 月 11 日：飛騨地域の 6 ケ所にて社会実験

6.平成 15 年度：まちの駅の取り組み

平成 15 年度は、「健康の駅」や「海の駅」など特殊な機能やテーマによる具体的な連携の検討、共同研究が行われた。昨年度に引き続き、民間施設の参加が増加している。

また、福岡県の甘木・朝倉地域に代表される、地域に貢献したい住民に機会を与えるような、公募制によるまちの駅の取り組みも進んでいる。さらに、半径約 10km 圏内のエリアを設定し、地域を代表するキーステーションとその周辺に散在するサテライト的な拠点の恒常的なネットワークづくりも進められている。

統一したベースマップの作成は引き続き行われており、季節毎の観光資源をプロットした紹介や、まちづくり人材リストとセットにした紹介等、地域ごとに内容の工夫が進められている。

社会実験(連携推進・強化)の実施

- 今年度は 10 地域 178 ケ所(うち 7 ケ所が地域・テーマをまたいでいる)の施設で「まちの駅」の社会実験(連携推進・強化)が実施された。

1. 新潟～群馬県の 13 ケ所にて実施(平成 15 年 4 月～16 年 3 月)

取り組みの主な特徴

- ・ 市町村長有志懇談会による駅の設置・連携推進(応援)
- ・ 天候による通行止め等の道路情報を記載した広域連携マップづくり etc.

2. 茨城～栃木～群馬県の 45 ケ所にて実施(平成 15 年 4 月～16 年 3 月)

取り組みの主な特徴

- ・ 民間団体が中心となった、官民パートナーシップによる駅の設置・連携推進
- ・ イベントカレンダー、まちづくり人材等を記載した連携マップ、データの作成
- ・ 「北関東まちの駅通信」の発行(月 1 回) etc.

3. 富山県の9ヶ所にて実施(平成15年4月～16年3月)

取り組みの主な特徴

- ・ 駅設置者を中心とした連絡会と行政関係者の実行委員会による連携推進
- ・ 年間を通じた連携写真展の企画・運営 etc.

4. 福岡県甘木・朝倉地域(1市4町2村)の50ヶ所にて実施(平成15年7月17日～)

※地域による自主的な取り組み(3年度目)

取り組みの主な特徴

- ・ 広域観光協会をキーステーションに、店舗・民間業者による駅の設置・連携推進
- ・ 週1回「特ダネ情報」発信や全国ネットTV放映等、広域エリアでのPRの徹底
- ・ 駅長会議・案内人研修等の定例開催 etc.

5. 隠岐・対馬・種子島の3島7ヶ所にて海の駅・島の駅実験実施(平成15年8月2～31日)

※平成15年度が初の取り組み地域

取り組みの主な特徴

- ・ 3島の官民ネットワークによる設置推進
- ・ 海、島にちなんだ情報発信、パンフレットの作成 etc.

6. 栃木～茨城県的那珂川流域8ヶ所にて川の駅実験実施(平成15年夏～秋)

取り組みの主な特徴

- ・ 那珂川流域の官民ネットワークによる設置推進
- ・ ライブカメラの設置、掲示板等による川の情報発信 etc.

7. 鹿児島県の8ヶ所にて実施(平成15年10月25日～11月30日)

※平成15年度が初の取り組み地域

取り組みの主な特徴

- ・ 地元まちづくりNPOと行政関係者のネットワークによる設置・連携推進
- ・ 歴史・文化再発見まちあるきツアーの定期的な開催 etc.

8. 福岡～熊本県(5市4町)の有明沿岸地域18ヶ所にて実施

※平成15年度が初の取り組み地域

※地域による自主的な取り組み

取り組みの主な特徴

- ・ 行政9市町の参加による有明沿岸サミットによる駅の設置・連携推進 etc.

9. 福岡県の21ヶ所にて実施(平成16年2月25日～3月9日)

取り組みの主な特徴

- ・ 官民ネットワーク型、側方支援組織による設置・自主企画の開催・運営
- ・ 4つのエリア制による、キーステーションとサテライト施設の連携推進
- ・ 春季と秋季の観光資源を広域連携マップで紹介 etc.

10. 岐阜県飛騨地域6ヶ所にて実施(平成16年3月13日～4月11日)

取り組みの主な特徴

- ・ 官民ネットワークによる設置・連携推進
- ・ 「道の駅」制度化10周年記念フォーラムの開催
- ・ 地域内の「道の駅」と共同での情報発信、スタンプラリーの開催 etc.

(地域を跨いで位置する駅)

1. / 2. の地域...群馬県新治村・子持村の3ヶ所

4. / 8. の地域...福岡県甘木市の1ヶ所

5. / 7. の地域...鹿児島県種子島の3ヶ所

フォーラム・勉強会の開催

- まちな駅ぽっぽ町田(東京都町田市)とながおか市民センター(新潟県長岡市)で、全国フォーラムを開催した。

1. まちな駅総会&フォーラム 2003 (平成 15 年 8 月 22 日, 於: 町田市、まちな駅ぽっぽ町田)
2. 飛驒の「道の駅」10 周年記念フォーラム in 高山
(平成 16 年 1 月 17 日, 於: 高山市、飛驒・世界生活文化センター)
3. 手をつなごう北関東交流会 全体フォーラム in 群馬 まちな駅部会
(平成 16 年 1 月 31 日, 於: 前橋市、群馬県庁)
4. 道を活かした暮らしの拠点連携フォーラム in 鹿児島 (平成 16 年 2 月 5 日, 於: 鹿児島市)
5. まちな駅総会&フォーラム in 長岡 (平成 16 年 2 月 13 日, 於: 長岡市、ながおか市民センター)
6. 道を活かした暮らしの拠点連携フォーラム in 那珂川
(平成 16 年 3 月 1 日, 於: 福岡県那珂川町、那珂川町商工会館)

- まちな駅総会&フォーラム 2003

まちな駅ぽっぽ町田(東京都町田市)で開催した、第 4 回目となる全国フォーラムには、まちな駅設置(予定含む)関係者、地元 NPO・まちづくり関係者等約 150 名が参加。モデル事例紹介として、町田市、長岡市、鹿児島市の取り組み発表を行った。また、特定テーマのまちな駅の勉強会として、「健康の駅」「海の駅」の紹介を行った。

その後、「ひらく」「出逢う」「むすぶ」をキーワードに分科会に分かれて討議を行った。



↑↓8/22 まちな駅総会&フォーラム 2003

- まちな駅フォーラム in 長岡

ながおか市民センター(新潟県長岡市)で開催した第 5 回目の全国フォーラムには、まちな駅設置(予定含む)関係者、新潟県のまちづくり関係者、市民一般参加等、総勢で 200 名となった。地域連携のモデル事例として、関越地域、鹿児島県、福岡県甘木・朝倉地域の発表を、手嶋氏による「まちな駅講座」等を行った。NPO・まちづくり、健康増進・食、環境教育、情報・コミュニティ、関越地域連携協議会(当該地域有志市町村による協議会)定例首長懇談会、の 5 つの部会に分かれ、具体的な連携方策等について話しあった。



2/13 まちな駅フォーラム in 長岡

7.平成 16 年度：まちの駅の取り組み予定

今年度は、社会実験を開始してから 7 年、常設のまちの駅を中心とした全国の協議会を発足して 5 年目となる。

これまで、社会実験という形で複数の地域をつなぐ「連携の拠点」として「まちの駅」の取り組みを行ってきた一方、ひとつのまち・コミュニティの単位で活動を支える「まちづくりの拠点」としての「まちの駅」の役割も重要視されてきた。

そこで、社会実験の形態をとり、先進的な取り組みを行ってきた拠点・活動に対し、それぞれのまちで地道な活動を行ってきた常設のまちの駅の位置付けを、明確にする必要がある。常設化のための一手法として、期間を限定し、まちの駅の仮設を行いながら、常設のまちの駅の連携による新しいくづくりの展開を図っていく。

「まちの駅連絡協議会」の今年度の重点課題は、昨年に引き続き①認定・入会制度の再検討・再定義、②スタッフ研修の定期的開催に向けたメニュー・システムの立ち上げ、③各駅の円滑な情報発信システムの構築である。これらを確立していくためには、モデル的なまちの駅関係者の実践的なノウハウと専門家による権威づけが必要となる。

モデル的なエリアや、ある地域連携軸内での連携はもちろんのこと、有志の「まちの駅」による全国的な PR 戦略や共同事業を検討・実施していきたい。

既に検討を開始しているものとしては、以下のものが挙げられる。4 月～5 月の間に参加を募るアンケートを実施する予定。

- ・ コミュニティ FM 局での「まちの駅」の特集番組やコーナーの設置
全国約 170 局のコミュニティ FM 局のうち、約 110 局に配信されている「ミュージックバード“COMMUNITY 3”」の土・日曜 6:00～8:30 の番組「おはようサタデー」「おはようサンデー」にて「まちの駅」の情報発信コーナーを設ける。まちの紹介、まちの駅の紹介、特産品プレゼントのコーナーがあり、15 年度、実験的に 3 ヶ所のまちの駅を取り上げてもらった。
また、福岡のコミュニティ FM 局「FM MIMI」では、毎週日曜、「まちの駅」の番組(1 時間枠)がスタートしている。(第一回：4 月 4 日)
- ・ 「まちの駅」どうしの特産やひとの交流ツール「これぞ便」「これぞ印」の始動
離れた地域の「まちの駅」どうしが、お互いのことを知り、交流をするためのツールとして、「これぞ便」「これぞ印」(どちらも仮称)の検討・準備を行っている。
会議やフォーラムで知り合い、交流するだけでなく、日常的に連絡を取りながら、お互いの駅の魅力を増して行くようなシステムを、モデル的な取り組みが進んでいる地域(福岡・新潟・栃木)の有志や東京近郊のまちの駅設置者(町田・横浜)と検討している。
- ・ 市町村を対象とした「まちの駅」のアンケート
市町村合併に伴い、コミュニティ拠点の必要性が高まってきているため、改めて「まちの駅」のコンセプトの確認と市町村への取り組みの呼び掛けをして欲しいと、まちの駅に取り組む複数の市町村担当者から提案があった。

●社会実験・連携強化の実施予定

1. 北上川流域(岩手～宮城県)
2. 磐越地域(福島～新潟県)
3. 関越地域(新潟～群馬県)
4. 富山県内
5. 北関東地域(茨城～栃木～群馬県)
6. 飛騨地域(岐阜県)
7. 福岡県内
8. 甘木・朝倉地域(福岡県)
9. 有明沿岸地域(福岡～熊本県)
10. 緑川流域(熊本県)
11. 八代・水俣地域(熊本県)
12. 鹿児島県内
13. 三重県内

14. 沿海地域(全国・日本ぐるっと一周海交流 に併せて)
-海の駅ネットワーク-
15. 那珂川流域(栃木～茨城県)
-川の駅ネットワーク-



8.平成 16 年度：まちの駅連絡協議会スケジュール

	連絡協議会	各地域のまちの駅(予定)
4月	・ 15年度報告作成・発送、全国アンケート(* P6 参照)	
5月		
6月	・ コミュニティーFM まちの駅コーナー 配信	
7月	・ 第6回まちの駅連絡協議会 総会・勉強会 (7/下旬、横浜市) ・ 駅まちづくりフェア 2004 (7/14～16、東京ビッグサイト)	
8月		
9月	・ 「これぞ便(仮称)」実験 (9月～10月)	
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		

- ・ 月一回、まちの駅をつくろう会を開催する (まちの駅自主企画等の検討のため)
- ※月一回、月末にメールマガジンを発行する

9.役員および事務局

- 名誉会長.....石川 豊 (南アルプス市長)
- 会長.....森 民夫 (新潟県長岡市長)
- 副会長.....石田 芳弘 (愛知県犬山市長)
- ”井出 隆雄 (NPO 地域交流センター 理事)

- 役員 (幹事)
 - 北海道.....太田 昇 (帯広 NPO28 サロン 専務理事)
 - 奥山 壽雄 (NPO ネット・プロジェクト・オホーツク・クラスター 理事長)
 - 坂下 利明 (北海道白老町長)
 - 東北.....山口 通男 (岩手県新里村長)
 - 太田 芳文 (秋田県角館町長)
 - 関東甲信越...鈴木 和雄 (群馬県新治村長)
 - 西川 正純 (新潟県柏崎市長)
 - 東海北陸.....石腰 保昭 (岐阜県宮川村長)
 - 小谷 伸一 (岐阜県丹生川村長)
 - 伏江 努 (株式会社 まちの駅たかおか 代表取締役)
 - 中国四国.....石原 真一 (島根県東出雲町長)
 - 吉村 文次 (高知 NPO 理事長)
 - 専門家等.....石川 治江 (NPO 法人 ケア・センターやわらぎ 代表理事)
 - 大倉 久直 (茨城県立中央病院 副委員長)
 - 小笠原 保子 (TBS アナウンサー)
 - 三浦 昇 (大阪テレビ 東京支社 理事)
 - 横島 庄治 (高崎経済大学教授)
 - 岡山 和生 (国土交通省河川局河川環境課長、湧志会 代表幹事)
 - 高橋 志保彦 (神奈川大学教授、日本トイレ協会 副会長)

- 相談役.....糠谷 真平 (国民生活センター 理事長)
- 田村 明 (法政大学名誉教授、まちづくり学会 会長)

- 事務局は NPO 地域交流センター (東京) におく。
〒105-0003 東京都港区西新橋 2-11-5 セントラル新橋ビル 3 階
TEL:03-3581-2700 FAX:03-3593-1374
事務局長：田中栄治 (特定非営利活動法人 地域交流センター 代表理事)

伝えたいこと、山ほどあります。



まちの駅に関する情報は、まちの駅のホームページで!!

<http://machinoeki.com>